平成 22 年度　事務事業事後評価調書（平成　21　年度事業）

整理番号	5	―	28

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	雄武町老人クラブ連合会運営補助事業					
評価者	担当課名		保健福祉課	担当係名		社会福祉係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	葛西隆		氏名	前田忠和
事業の概要	老人クラブの活性化と地域における親睦･交流を深め、高齢者の福祉向上を図るため、雄武町老人クラブ連合会の運営補助を行う。			全体計画 /単年度繰返 （平成 20 年度～ 24 年度）		
				事業費	国･道支出金	1,500 千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	3,500 千円
					事業費計	5,000 千円
実施方法	■ 直営		□ 民間委託		□ その他（　）	
第 5 期 総合計画（前期）	■ 登載事業		□ 非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	2	ぬくもり･雄武～保健･医療･福祉の充実～			
	基本施策	7	高齢者支援の充実			
	単位施策	3	社会参加の促進			
	事務事業の種類	■	自治事務	□	法定受託事務	
	その他計画･根拠等					

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国･道支出金	325 千円	338 千円	300 千円	300 千円	300 千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	675 千円	662 千円	700 千円	700 千円	700 千円
	合計	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円

2　事務事業の目的･内容（Plan･Do）

【誰、何が（対象）】	老人クラブ連合会	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	高齢化が進む中、健康で安心して暮らせる長寿社会づくりが望まれる。	運営補助金の交付		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	高齢者自身が地域社会の中で、自らの経験や知識を生かして役割を果たしていけるような社会づくりを目指す。	① 交付実績	目標年度	平成21年度
			目標値	1,000 千円
			実績値	1,000 千円
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	老人クラブ活動の充実が図られ、高齢者の生きがい、健康づくりや社会参加活動が促進される。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
①老人クラブ連合会への運営費補助	全単位老人クラブが加入している連合会に運営補助を行う。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	高齢者の自主的活動への運営費を補助するものであり、地域の全単位老人クラブが加入している。老人クラブの安定的な事業運営を行うためには必要である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	運営費の補助により連合会の活動が活発となり、高齢者の健康の維持と福祉の向上が図られる。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	組織の計画に沿った事業が実施されており、効率的であると考える。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	連合会傘下の単位老人クラブは各地区に設置されており、公平と考える。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
高齢者等が健康でいきいきと暮らしていけるよう支援するもので、計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
高齢化は今後も続くことから、当分は現状維持が適当である。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）